日刊

定價 一部金貳錢 一ケ月金五拾錢 郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 （振替口座）東京 四〇二二〇番

二月六日夕刊

天氣豫報
今晩は北の風曇
明日も北の風曇

足を出した七萬八千圓
此の歲出入の開きを如何なる方法で遣り繰るか

平町豫算編成難

平町の明年度豫算は各部委員會で夫々審議終了、町當局では今月中に豫算內示會を開く豫定であるが、各部委員會審議の明年度度豫算總額は五十四萬圓で前年度四十九萬圓より五萬圓の增額であり一方歲入に於いては（土地賣却代）二万圓、（水道縣費補助）八千圓が減額する事とて結局七萬八千圓の增額を如何なる財源に依つて捻出するかゞ問題で

議員の意嚮としては戸數割は引上げず前年同樣十八圓平均に止めるものと見られて居る歲出入のバランスを合する處に當局の苦心の程がうかゞはれる、尙明年度計上の事業費及び增額の重なるものは

平商建設（九萬圓）第四校建設（四萬圓）新川改修補助（三千圓）材料騰貴に依る水道部費の增額（二萬圓）第一小學校二學級增設費（四千圓）等でこれが豫算編成は稅制改革に依る稅收入の影響並に市制施行の可否如何に拘らず平町獨自の立場から編成さるゝものゝ如くである

懷しの我が家へ
織姬達の喜び！
お土產金の最高が何んと三百二十圓

片倉の表彰式

片倉磐城製糸株式會社の女工さん達三八〇名は待ち焦れた舊正月の冬季休業で來る九、十の兩日夫々懷しの家庭に歸鄉するが繭高と製糸業界の好轉で僅か一ケ年間の働きで持ち歸るお土產金額がなんと最高三百二十圓、最低百二、三十圓と云ふ豪勢さ！この女工さん達は何れも二週間位鄉里で休養して八分通りは契約更新の上復歸、就業することになつた、尙同社では女工さん達の歸鄉に先立ち明七日午前九時から同社講堂で七ケ年間無缺勤並に優良女工の佐藤けさのさん外左記の如く從業員表彰式を擧行する

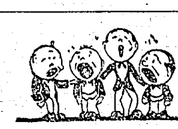
（十ケ年勤續）橫尾みせ（七ケ年勤續）金子けさの　田島みち　齊藤よし　上野たつみ　瀨戸みさ　小野みさせ　鈴木しん（七ケ年無欠勤並に優良）佐藤けさの（五ケ年勤續）中村まさよ　新妻たつよ　佐藤八重　伊藤はつよ　梶川てる　沖津もと　若松とし子　四家かど子　大波きよ　岡山とめの外三年勤續七十九名優良女工三十三名

焚火が燃えつき老婆無慘の燒死

山田村大字上山田字屋敷蛭田タキ（七二）は四日午後八時頃自宅爐端で焚火中誤つて着衣に火が付き全身に大火傷を負つて間もなく死亡した

肥料密賣 執行猶豫

既報縣吏員に差押へられた肥料を密かに賣拂ひ橫領罪に問はれ懲役六ケ月を求刑された四倉町仲田九五合資會社鈴木治作（五二）の判決言渡し公判は今六日午前九時から平區で野木判事係り石合檢事立會、門傳辯護士列席の下に開廷、判事から求刑通り懲役六ケ月執行猶豫三年間を言渡さる



郷土夜話 とりごや土俗

KS生

【二】

ドンド施行の形式も各地の人情、風土に依つて、其旨を違へし、鄉土異色多量に含みて閑却に附すべからざる示唆を吾人に與へて居る如く感ぜられる會津喜多方地方に於ては一地區へ藁を積み重ねて高塔の如きものを作り以て火を放ち松飾を納めて正月を送ると云ふ。

「其行事を何と申します？」

「さあ、何とおつしやいますか、呼稱などない樣ですわ――そう\／、さいのさ神（？）と云ふかも知れませんの」

一婦人は筆者の質問にこう答へて下された。

昔の神のくわんじん
錢でも金でも
くわつくわつとおやれ
おやれ（越後）

であつて左義長をする前に、齋の神の勸進とて米、錢を各家に廻りて强要し奉具奉納する左義長の祭祀「齋の神」は、時代推移民族進展とに伴ふ起伏は免かれないとしても古代生活に於て緊密であり寸分たりとも離脫し得ぬ觀念のもとに我が遠祖の胸裡に育れ敬尊されて茲に三千年の長き歲月に亘り祭典の斷なりし「齋の神」との祭神は何れの神を祭りたるものであろうか。

齋の神である以上、塞の神は歲の神と呼ばれ或は幸神等と稱し岐神であると共に道祖神でなければならぬ。

共工氏の子、遠游を好む、故に死後祀て道祖神となす

との支那傳說に影響され、道路守護行人の安寧を司る神と信じられ來つた道祖神が、支那傳說の一枚のヴエールを取除けば何ぞ知らん、曰く、性神。であつた、性神が何故左義長擧行にあたり祭祀として祭らるゝに至つたであるうか？　是等民間行事習合の奈邊により來たるかの疑義に溯源し、左義長を中心とした土俗民俗を考究し以て磐城地方に於けるとりごやに就ての特異性探究考察し該論を進めて行きたいと思ふ

◇古代信仰

現在吾々の使用し居る「神」なる文字は支那に於ける文字であつて、眞の日本の「カミ」とは本來の意味が違ふとしても、神といふ字を二つに分ちて解離すれば示遍に申であり、さらに示を解剖すると「二」と「小」の合字で「二」は「天」の意、「小」は「日月星」の三體である。「申」は「雷」の本字で、即ち森羅萬象の中心を貫く眞理を神の包容と看做し、天の日月星晨を見て人類の吉凶禍福を知り、雷鳴轟き驟雨に閃く稻妻に接し、人の犯せる「心の罪過」に戰慄を感じ神に祈ることに依つてのみ天變地異の恐怖より逃れ去ることが出來たのであつた。

天にあつては星晨、地にあつては眞理を求むる心――古代民族の人智に解せざる目に見えぬ萬物に對し、これを占ひ、これを秡ひ、陰陽寮で幣帛せば、僧侶は讀經し、神官をして全國の神社に祈らしめる以外に其苦惱より逃れ去る途がなかつたのであらう。

從つて陰陽は當時の科學でもあり、宗敎でもあつた。

シユーマイ 電28 福壽軒

鼠退治のパンを
家人の知らぬ間に愛兒が食べて絕命

平町大町二七鐵工業渡邊秀行氏長女長子（八）ちやんは去月三十日午後臺所に鼠退治の爲めに置いた猫イラズ入れの餡パンを家人の知らぬ間に食して苦悶し初めたのを家人が發見、同町若松醫院で手當中だつたが六日午前二時遂に死亡した

三校打合會

平第一、第二、第三の三校事務打合せ會は來る二十五日午前十時から第一校會議室に開き定期末の行事に就いて協議すると

經濟更生基本調査

經濟更生指定村の好間村小谷作ではこの程部落單位の更生計畫を樹立、愈々これが第一步として各戶の基本調査を主眼とする方針で明七日午後三時から共同作業場で郡農會柴田技手臨席の下に第二回協議會を開く

腐爛した屍體
漁業中の網に懸る

五日午後二時十分頃小名濱町古港鈴木房吉氏所有船海津見丸（船長龜山建助）が豊間燈臺沖合十三浬の海上で漁撈中死後三ケ月の腐爛した年齡三十才位の男の屍体漂流し居るを發見、屆けでにより平署で檢視したが身許不明のため假埋葬に附した

平陽女學校が
全く面目一新
生徒募集のトップ
課外にタイプライター

平町各中等學校のトップを切り早くも生徒募集を開始した平陽女學校は昨春二月創立者酒井みよ女史逝去以來本多忠綱氏が校長に就任元勿來校長折笠鬼子太郎氏を主事とし新たに東京女大出の石坂トシ子、東京文化洋裁學院出の吉田千鶴子の兩敎師を迎へる等面目を一新し更らに來る四月の新學期からは日本タイピスト養成所出の矢吹ナミ敎師を迎へ課外にタイプライターを敎授する事になつた由

草野刑事轉仕

平署草野刑事は植田署に轉任、來る九日午前十時四十一分發で赴任する

畜牛五ケ年計畫
郡下の三百頭を千五百頭に增殖

農業經營の多角的合理化を圖るため近年とみに畜牛力利用が奬勵されて來た結果石城郡下には現在三百頭飼養されてゐるが更に本年の丑年に因める記念事業として縣下の畜牛組合が增殖五ケ年計畫を樹立、全縣に亘つて現在の七千二百餘頭を五ケ年後には三萬頭に增殖見込であるが郡下に於ても一躍千五百頭に增殖廢飽に亘る育牛利用を奬勵することになつた

勿來校增築工事
總工費一萬七千五百圓
上棟式擧行

勿來尋常高等小學校增築工事の上棟式は既報の如く五日午後二時平から關係者多數列席して盛大に擧行

工事は植田町中山吉之助氏が一萬二千五百圓で請負、敷地買收費（三千七百十九圓）その他を加へれば總工費一萬七千四百十九圓で木造平屋八敎室、二百五十三坪の廣壯なもので三月末竣功、四月の新學期から兒童を收容する

稅務功勞 振興會表彰

石城稅務振興會では來月上旬豫算總會を開くがその際、稅務功勞者を表彰

鐵道枕木百廿丁竊取

上小川村中小川二四門馬壽（五二）は平町才槌小路材木商色川一方の木材搬出請負をやつて居るうち昨年十二月中色川氏所有の双葉郡川田村地內鐵道枕木一二〇丁（價格一五〇圓）を盜み出し田村郡瀧根村神俣驛前松永高之助氏に賣却費消したこと發覺、今六日平署で檢擧

歲末の貧困救濟

方面委員が協議

平町方面委員は八日午後一時から舊歲末の貧困者救濟その他に關し同町會議室で協議する

十噸車で二車半
人絹工場の鹽使用量

錦村昭和人絹工場では苛性ソーダ製造用エクプト鹽本年用分九百萬キロの直輸入を過般來水戶專賣局を經て本局に出願中であつたがこの程許可の指令あつた因に工場で一日に使用する鹽は十トン車で約二車半に相當する大量のものである

海軍志願兵縣下で不足
本郡は定員を既に突破した

十二年度海軍志願兵募集は本縣割當二千三百八十名の應募者定員に達せず既報の如く去月末日迄延期して募集した結果千九百七十三名に達したが依然縣下で四百名の不足であるため更に延期するに至つた尙郡下は成績よく定員を既に突破して十八日平第三校で試驗を施行されるが申込は更に受理すると

開眼手術 希望八名

平町の開眼手術希望者は左の八名であるが期日は未定である

北白銀町鈴木七十　訓盲院小西勇　同大津光行　舊城跡宮村タラ　彌宜町酒井タマ　二丁目館春榮　仲間町猪狩和雄　南町酒井ハル　南白銀町佐藤ツル

鈴木警部補 八日に出發

若松署に榮轉した警部補（元平署詰巡査部長）鈴木直氏は八日午前十一時平驛發で赴任するが同氏は去る七年九月着任以來各種犯罪檢擧に敏腕を揮ひ轉任を惜しまれてゐる

揚土臺の實地教練
けふ研究會

既報磐城通り中等學校の敎練敎師研究會第二日目實地敎練は今六日揚土臺附近で行れる

勳六等昇叙

元勿來小學校長折笠鬼子太郎氏は此程勳六等に叙せられた

平、四倉兩署劍道 十九日試合

平、四倉兩署管內劍道階級試驗は來る十九日午後から縣敎師小川文章氏に依り既報の如く平署演武場で行はれるが參加は平五十名四倉二十名である

平第一校の月次運動會

平第一校は來る二十四日全校兒童の月次運動會を催すと

平町人事

回出生

△材木町一五佐藤淸吉氏長女萬里子さん
△鍛冶町二小川伊之助氏四女ミツエさん
△古鍛冶町三〇小田仁太長女榮子さん

回死亡

△大町二七渡邊秀行氏長女長子さん（八つ）

平職業紹介所報告

回求人之部

△洋服仕立職人　三十才迄給歩合　高卒
△小物店及金物雜夫　三十五才迄日給七八、十錢　高卒
△出前持　三十才　迄給面談
△農夫　四十才　迄月給八圓
△女中　二十三才　迄給五円　高卒

回求職之部

△給仕　十八才　高卒
△トラック助手　十九才
△鐵工見習　二十四才　高卒
△農夫二十三才　高卒

JOHK

今晩の部

▲後六、〇〇 お話「算術遊び」奥野泉
▼後六、二五 趣味講座「姓名の話」太田亮
▼後七、三〇 俚謠「松前三下り」川島仙藏他（函館）
▼後七、四〇 ピアノ獨奏 豊增昇
▼後八、〇〇 隨筆漫談「百鬼園先生言行錄」石黑敬七
▼後八、二〇 レビュウ「世界の唄」寶塚少女歌劇星組生徒
▼後九、〇〇 時事解說 田代重德
▼後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 番組豫告

明日の部

▼前九、三〇 子供の時間 ラヂオ日本見物「東北の旅」HKコドモ會
▼前一〇、〇〇 日曜勤行 京都妙心寺大方丈中繼
▼前一〇、四〇 科學趣味講話「菌類をつくる飮食物の話」高橋偵造
▼前一一、一〇 講演「我國の觀光產業とその將來」平井泰次郎
▼後〇、五五 日米音樂國際放送
▼後一、三〇 琵琶
▼後二、三六 ハーモニカ合奏 ミヤタハーモニカバンド
▼後三、〇〇 歌謠曲 二葉あき子
▼後四、二〇 滿洲より「最近の滿洲金鑛事業に就て」南鄉龍音
▼後六、〇〇 合唱と獨唱 JOAK唱歌隊
▼後七、三〇 日曜特輯ニュース演藝
▼後七、五五 浪花節「奥村五百子」筑波雲
▼後八、三〇 寄席中繼（日本橋區人形町末廣亭より）

二日市景品に付て

一、現金にて御買上の方に景品を呈します
一、現金にて商品券御買上の方にも同樣景品を呈します但し商品券にて品物御買上の場合は景品は差上ません

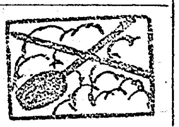
二日市の景品は右の通り御實行せられんことを希望します

平町各商店御中
平町御客樣御中
平商工會

吸入用酸素 純度99%

度量衡
モノサシ マス ハカリ
計量器 體温計 寒暖計
秤ノ取緒。垂糸。修繕致シマス
寫眞材料一式販賣致シマス
關內藥局 電話四〇番

市原醫院
內科 小兒科
外科 梅毒 淋病
入院隨時
平町田町 電話一二四番
市原卯太郎
市原三三男



白柄劍風連

大島多農夫作
井川洗厓畫
（[illegible]）布施[illegible]
村瀬[illegible]映畫

……七二……

返り咲く華（十二）

やなぎ[illegible]の[illegible]へついたときは[illegible]う四つ[illegible]い[illegible]であつた。だから、[illegible]もはづしてあつたし、戸もしまつてゐたが、まだ家のなかには[illegible]がゐるらしく、[illegible]な[illegible]や、[illegible]るい灯の[illegible]が戸の[illegible]からもれてゐる。

主水はそつと[illegible]つて、戸のすき間から、家の中を[illegible]心にのぞいて見た、が何處にもお京の姿などは見えなかつた。しかし、折角こゝまで來たのであるから一目でも[illegible]しいお京の顏や姿を見てゆきたいものと、[illegible]が忍ばせては家のまわりを[illegible]つて見た。[illegible]のヒソヒソと[illegible]やかな灯と一緒にもれてゐる。

もしや、今夜。十郎左衞門が來てゐて、あの京人形のやうな美しい[illegible]のやうに[illegible]しい[illegible]京は[illegible]の[illegible]のうへで抱しめられてゐるのではあるまいか。

と、若人の血は見る\／うちに嫉妬の炎に燃えて、[illegible]火のやうに[illegible]くなつて來た。眼はやうやく血走つて來た。

そして、まるで飢ゑた野良犬が一塊の肉片でも漁るやうに、[illegible]もぐる\／とやなぎ屋の家の[illegible]をまはつて見た。だが[illegible]の[illegible]にも耳へもはいらない。

【お京どの】

知らず識らず若人は叫んで見た。あいにく強い風で、その[illegible]は吹きとばされたのか。家のなかのお京には聞えないらしい。

どうやら家の方で、人の離れた下駄の音が聞える。主水は[illegible]しく[illegible]つて、また忍びやかに[illegible]の方へ行つて、ぢつと[illegible]あかりに[illegible]をこらして見た。

それは[illegible]であつた。

[illegible]もなく、[illegible]おきさんや二三の[illegible]らしい[illegible]に[illegible]られて、[illegible]にのつた人の姿は、[illegible]い[illegible]の[illegible]の十[illegible]らしかつた。

「[illegible]さんよく[illegible]をつけてね[illegible]の[illegible]でござんすよ」

と、[illegible]く云つたのは[illegible]めおきんである。

合[illegible]だとばかり[illegible]に四人の[illegible]によつて、[illegible]に[illegible]い[illegible]を[illegible]つて行く。

「さうだ。この[illegible]をはづして[illegible]

[illegible]にチラ\／とかすかにうごく提灯の火の影を目あてに、主水は見えかくれについて行つた。

だが、また主水の[illegible]は、ピタりと停つた。

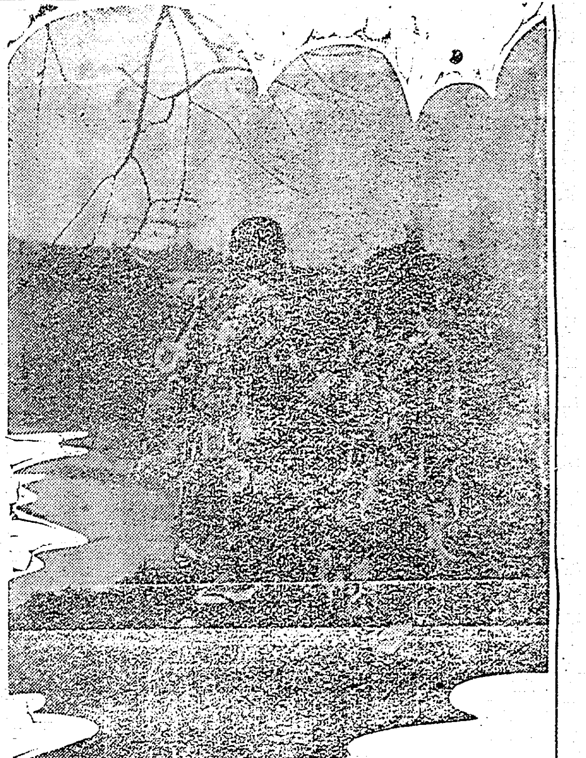
【[illegible]は力強い人だつた。[illegible]をとらせても[illegible]の[illegible]れた[illegible]だ。つたそれを斬らうとすれば、[illegible]方が斬られる[illegible]がなければ[illegible]だ】

と、主水のいかにも人[illegible]らしい[illegible]さが、はやる若人の[illegible]を[illegible]かゝつた、たゞ血を見て[illegible]ふ[illegible]はまた耳もと[illegible]う叫んだやうだつた。

【[illegible]め、斬られるのは[illegible]ではないか。そんなことで[illegible]い[illegible]を[illegible]せるものか】

[illegible]はまたうごいた。[illegible]との[illegible]に[illegible]へだつてゐたが[illegible]に[illegible]つたので[illegible]の[illegible]で[illegible]ついた。

【[illegible]し】



「あゝほころびた梅の花……」

お可愛いお二人、お母さんの御心づくしで美はしい着物をめして喜ぶこの少女は初めて梅のほころびに一つ齢をとつたことをお存じですか？

のど佛の後に肉の塊
痛くも痒くも無いけれど
記憶や思考力に減退を來す

最近ある小學校で鼻の悪い兒童十五人を診せてもらつたところがこのうち十四人までがアデノイドに罹つてゐるためにこの學校の特種學級に編入されてをるものでした。

◎　◎

一體アデノイドとはどんなものかと云ひますと俗に云はれるところでは咽喉の後に出來てゐる小さな肉の塊なのですがこれがあるから特別に痛くも、かゆくもないから當人は、まして子供のことですから勿論氣のつかう筈がありません、ところがこの病氣に罹つてゐる子供はどうも鼻汁を出す鼻のあなが充分でないので口をあいて呼吸します、特に就眠時にはポカンと馬鹿のやうに口をあけてゐるのが多いのです。

◎　◎

醫師の方からいひますと夜はいびきをかいたり、又充分に睡眠が取れなかつたり、突然ビヨコンと床の上に起き上ることがある、言葉がハツキリしないで閉鼻聲といつた所謂鼻聲となる——などいはれてゐますがアデノイドに罹つてゐる者の百人が百人までさうとはいへませんが百人のうち三人位は學校の成績のよいのがあります。

◎　◎

而し、この病氣にかゝつてゐると精神の發育が遲滯し、記憶と思考力が減退し、すべて物事にあきつぽく注意の注意が散漫で頭痛が重なり、時には耳が痛むことがあります、然もこの症狀は五歳から十五歳までの間に最も多く青春期になると自然になほつてくるやうですが知識の盛んに燃えてゐるこの年頃に所謂身體機能障碍に惱まされて人並の教育を受けることの出來ないのは當人の不幸はいふまでもないことですが親達の責任として放つて置くわけには行かない問題です。

◎　◎

だから來る四月小學校に入學する兒童ばかりでなく現に通學してゐるものでも右の症狀に似たやうなことが見られたなら早速專門醫に診てもらはなくてはなりません。また、この[illegible]がある時さへ云はれてゐる位ですから兒童を持つてこれにかゝつてゐることもありますから注意しなくてはなりません。

花ものがたり
世界の國々には各々國花がある

花を愛することはどこの國の人でも同じことでありまして一番によい花とか、何かの縁起によつて國の花と定められるものが一つづゝあります。我國では皆さん御存じのとほり『さくら』です。櫻はそのさいた姿の雄々しく、又その散りぎわの勇ましさは昔の人のいふ通りに『花は櫻木人は武士』であります。寒い中に元氣よくさく梅は櫻のやうに華やかではありませんが、そのかほりゆたかに品のよいものです。この梅は支那の國花です。支那では最近まではぼたんでしたが中華民國と名をあらためてから梅が國の花となりました。梅は西洋の人にはあまり好かれぬ花ですが東洋人には味はひのある花で、ちやうど支那の國花としておくにはよい花だとおもひます。

アメリカの國花はなんでしたらう？アメリカはあんなに廣大な土地でいくつもの州にわかれてゐるのでそのところ〴〵によつてちがひますが、アメリカを代表する國花は『さんざし』です。さんざしはイバラのやうな木でヨーロッパ、日本、支那にもあります。色の白い五つの花びらをもつてむらがりさき實がなると赤か黄色になり大變美しい花です。この花は昔から望みの花『出世の花』といはれアメリカ人に好かれてゐます。

イギリスの國花はバラです。樂しくなつかしい花です、隨分むかしからあつた花ですが何でもあまり新しいことを好まないイギリス人がこのバラを國の花としたのはさすがとうなづかれませう。

フランスの國のはなは『はなしやうぶ』です。これはみなさんもよく御存じのすつきりとしたやさしい花です。はなしやうぶははな言葉では『福のたより』とされてゐますがフランス人の好きさうなはなではありませんか。イタリーの國花はあの可愛らしい『ひなぎく』です。このはなはイタリー人にかぎらず、ひろくヨーロッパ人に愛されてゐるはなの一つです、何事にもかざりを好まぬ質實な矢車草を代表花として印度はケシ、スペインはみかんを代表のはなとして居ります。

金はどうして掘り出されるか（四）
紙上金鑛探檢

記者「水銀でどうして金がとらへられますか」

學者「水銀は金とアマルガムをつくるといつて金を吸ひつける性質がとても強い、そこを利用して一ぱい水銀に金粒をつけて置いて簡單に云へば鹿皮の袋でアマルガムをしぼると金銀アマルガムといふものが袋のなかに殘るのだ」

記者「淘汰法とは」

學者「砂金層のある場所に水をたゝへ特別仕掛の淘汰船をうかべ淘汰用バケツで金つぶを含んだ砂れきをすくふのだ」

砂金と幾分違ふ 山金の發見法とは

記者「砂金の採集方法とは大體判つたが、金鑛はどうして發見しますか」

學者「砂金のあるやうな川の奥には金鑛脈がある場合がある、しかし大體はつまり金産額の六割は銅山または[illegible]鑛山から出る[illegible]、黄鐵鑛、[illegible]などに含まれて出たりその他に自然金として出たりする臺灣の金瓜石、瑞芳の二大金山は有名だが内地では[illegible]りの四鑛山を宮城縣の大谷、福島縣の高玉、兵庫縣の竹野、静岡縣の土肥、その他、佐渡、鹿兒島縣の串木野、大分縣の鯛生、北海道の鴻之舞などから產出してゐる、これ等の金山は第三紀火山岩に伴ふ淺成金鑛脈の產物である。しかし朝鮮の金山は太古代に出來た片麻岩や花崗岩に含まれてゐる深成金鑛脈である」

燦然と輝く 黄金の誕生

學者「砂金に對して金山の金は山金といふが、この山金の發見は前述のやうに今まで銅山だつたのが途中から金鑛脈が見付かつて金山となる場合もあるが、鑛脈を發見するには地質調査をするわけだが、金は次生鑛物として露頭といつて山間の地上に[illegible]金鑛脈が頭を出してゐる場合がある、これを發見すればしめたもので次にこれがいかなる形の鑛床であるか、いかなる性質の鑛床であるかをしらべ、採掘にかゝるのである、この山金の採掘には昔は露頭掘りといつて、鑛床の露頭から鑛脈に從つてむちやくちやに採つて行つたものだが、今日ではこの方面の技術も進み、必ず喞水、運搬、通風などを考慮に入れて山麓または山腹の適當な場所から近代科學の技術の許すかぎり、あらゆるメカニズムを用ひ、水平坑道、豎坑、斜坑と上下左右一つぶの金も殘すまじと採掘するのだ」（つゞく）

日本髮洋髮

お顔に似合ふ眼鏡の選び方

丸い顔の人は横長の形は避けてフチなしにしますかそれともフチをつけるならば、目立たない色としては、白つぽいもの、人によつては細ワクの黒べつ甲も、理智的に見せてよいものです。長い顔の人はふちがあつた方が顔が區切られてほどよく見えます。小さい顔は、ふちがあると顔がこせこせしますから、なるべくふちのないものか目立たぬふちのものが無難でせう。顔の大きい人や顔の平面な人はふちのつよいロイドの大きな眼鏡をかけると、顔を引きしめて見せます。鼻の寸のみじかい人は、ブリッヂにすると、よく顔の丸い人もブリッヂですと顔をしめて見せてよいものです。又、髮形も日本髮ならば金ぶちか、フチなしが、大島紬にも似合ひます。洋髮の場合に、ホワイトゴールドやべつ甲ぶちがよく似合ひ、洋裝の場合には、ふちのあるものでも又はふちなしのブリッヂのものでもよく似合ひます。中年の方で目の細りに小皺のある人などは、小皺をかくす意味で眼鏡をかけるのもこのごろの新しい美容法でせう、また、眼は悪くなくても、顔に何となくしまりのない人は、ふちのある眼鏡をかけると、ぐつと顔がしまつて生きてくる場合があります。

てつきり當つた フランス女の豫言
お次は米國の景氣と
ナチス政權の壽命

歐洲大戰の勃發とその終結をピタリとあてゝ一躍名をあげた佛國女流豫言家ボナクは一九三四年中に世界に一つの新しい國家が生れることを豫言したが的中して滿洲帝國は[illegible]の三月に成立しようとしてゐる、彼女によると、今年中にはスペインでは王制が復活し、ソヴエイトロシヤは世界平和工作の中心となり佛國との接近は著しくなる。米國に九月ころから起る大不景氣は世界に擴大するなど、甚だ威勢のよいことまでしやべつてござるドイツのヒットラー政權は明年限りなんぞと佛國人の喜びさうなこともいつてゐるが伊國では有名な政治家が二人死ぬとは豫言[illegible]した。伊國で頑張つてゐるムッソリーニはます〳〵活躍し佛、英と新協定に達するだらうと、適中したら御指導の結果のほどを……。

短波で病氣治療
ジユ博士の發見

エルウイン・シユリーフエイク博士は超短波長電波を用ひて重い病氣の内部疾病を治療する新方法の發見を最近の英國醫學雜誌『プリチイッシユ、ジヤーナル・オヴ・フイヂカル・メヂシン』に發表して醫學界の注意をひいてゐる。博士の報告によれば結核性關節炎、内部骨折、頭痛の如きはこの新治療法によつて手術を行はずして簡單に治療し得るといふのだ。電波はラヂオの放送セットのやうな仕かけの放電器から發せられるが博士の[illegible]によると八日間乃至十五日間の治療後十日乃至二十日間でどんなおほきな病でも全治するとのことである。多くの場合痛みや緊張の感情は最初の治療で消失する。苦痛をなくすることは特に患者にとつて喜ばれる。この方法による時は普通の醫科手術や從來の治療法による如くに局部をいちぢるしく傷害することなくして苦痛を除去し得るからである。ミグレイン（偏頭痛）——に對しては就中急速な効果を表す。すなはち一日半時間の治療で現在の治療に比しはるかに顯著且つ快く癒る。

護れ太平洋の波

寺島柾史（作）
村瀬一春映（畫）

……[illegible]……

第二の役割（五）

「あれは、不成功だつたのか」

「はい、機關士のルードといふ男に裏切られて、みごと失敗でございました」

「はてな……、そんなはずはあるまい」

「いゝえ、現に太平洋で戰爭がはじまつたことをきかないではありませんか」

「ボルトメン君、わしは平和論者なんだ。太平洋に戰爭があつてたまるものかい」

「えゝ、でも、われ〳〵が北洋に出動したのは、あなたの命令によつて……」

「さうだ。わしの命令によつて、北千島に紅鱒を買ひに往つたさ」

「いや、そのほかに重大任務を帶びて居りました」

「密獵かい……しかし、あれは船長、おまへの役徳ぢやないか、わしは、君に密獵を命じはしない」

「いや、それではありません。北千島B島を爆擊して……」

「おつと待つた。それは何かのまちがひだらう。わしは平和論者だ」

「……」

ボルトメンは、やけに首を振つた。

「ボルトメン君、わしは平和論者だから、君に戰爭のきつかけをつくる重大任務なぞを命じはせんが太平洋に戰爭氣分をつくらせることを命じた」

「戰爭氣分？」

「いかにも、氣分だよ。戰爭の準備をせいとか、戰爭が間近に迫つたとかいつた、いはば宣傳だ」

「でも、あのB島の爆擊が、ルードに裏切られなかつたら、あと十分間でおそろしい結果となつたのです、氣分どころの段ぢやありません」

「あれは、誰かのいたづらだらう。わしは斷じて命じません」

「おかしい!、實におかしい。いたづらにしては、アメリカの浮沈にかゝはるいたづらですね」

「なアに、あのとき、君が爆彈を無電局の建物めがけて投げてみるとよかつた」

「戰爭だ。それこそ正眞正銘の戰爭です」

「その戰爭を、ちかごろ君は忌避してゐるさうぢやないか」

「いや社長、それはちがひます。わたしは、いつでも戰爭へ出かけます」

「だが、ボルトメン君、君は、水兵に變裝しなかつたさうぢやないか」

「え！」

ボルトメンは、おどろいて腰を浮かした。

ピコルは笑つて

「好戰家のボルトメン君が、戰爭を忌避するなぞは、やはり時勢かな」

ボルトメンは、泣きさうな顔で

「社長！では、あの黑い外套を着た、水兵姿のブローカーに化けてゐたのは、あなたの腹心の男だつたのですか」

「まア、さういつたところさ」

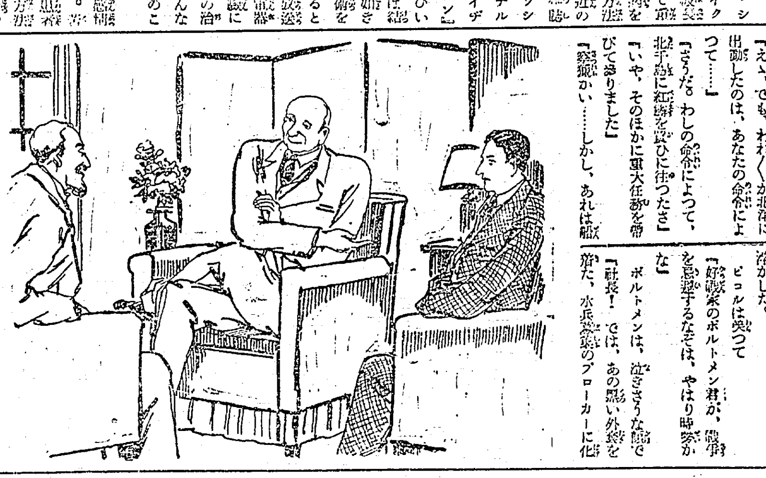
「あの男は、ワシントン政府の海軍人で、軍部の御用のために奔走してゐるとみたのは、わしの誤りでした。わたしは、ルーズベルト大統領のために軍艦に乘りたかありませんが、社長、あなたのためなら、どんなボロ船にでも進んで乘り、どんないのちがけの仕事でも引受けます」

「わかつた、それでわかつた。……それはそれとして、ボルトメン君、君に紹介しよう。この男は、わしの會社の技師だ」

ピコルは、翠飯原を、改めてボルトメンに引合はした。

ボルトメンは、これにもまた度膽を拔かれてしまつた。

「社長、この男は、ロッキイ丸の下級船員だつた男です。翠飯原と社長に御紹介をしていたゞくまでもなく、わたしは、ヴアンクーバーのあなたの別莊の近くで久しぶりに出逢つたのです。一緒にこれへやつて來た、わたしの部下です」



舊歳末福引大賣出し

◎二月三日より七日間（舊十二月二十二日）

◎御買物の絶好期　平吳服商組合加盟店へ

◎御仕着セ御贈答品豊富取揃へ

◎各店競ツテ特價品の山

一金貳圓　毎ニ福引券呈上

◎各店思ひ〳〵の大福引大景品

贈ツテ便利…『商品券』…受ケテ重寶

二丁目	伊關吳服店
四丁目	小野榮吳服店
土橋	渡邊吳服店
白銀町	川又吳服店
鍛冶町	吉田屋吳服店
新川町	谷屋吳服店
強捕小路	松屋吳服店
古鍛冶町	安積吳服店
研町通り	北川吳服店
三丁目	三井吳服店
新川町	諸橋吳服店
一丁目	仙臺屋吳服店

平吳服商組合

開業貳拾週年記念抽籤△

謝恩奉仕大特賣

▽お買上げ壹圓毎に……抽籤券壹本添付……

▽特賣期間　來二月十五日マデ（舊正月五日）

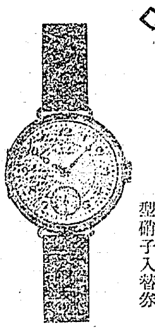
▽抽籤日　昭和十二年二月十七日

▽當籤發表　同　年二月十八日

景品の數々　空籤なし

◇景品◇

一等	金側八型腕時計
二等	ポータブル蓄音器
三等	美麗置時計
四等	高級萬年筆
五等	二色シヤープペンシル
六等	懐中、腕時計丸型硝子入替券



時計、眼鏡、貴金屬、萬年筆

平町二丁目

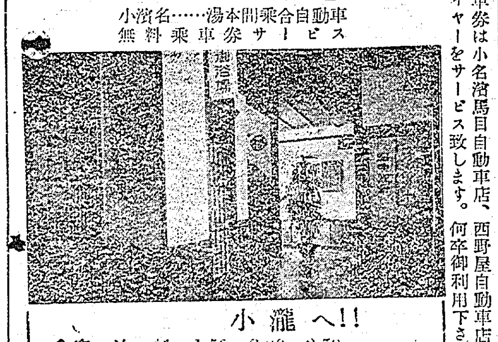
根本時計店

電話六〇七番

鐵道省指定記念

小濱名……湯本間乘合自動車

無料乘車券サービス



乘車券は小名濱馬目自動車店、西野屋自動車店、湯本驛前丸木、矢内自動車店に御座ます。三人様以上はハイヤーをサービス致します。何卒御利用下さい。

小瀧へ!!

◇宿泊料　1.50　2.00　2.50
（御客様は左記料金にて中食料をふくませます）
◇日歸浴席料　.20
◇自炊料　.50—.80（入湯料・室料 夜具料一切）
◇料理一定食　.80　1.00　1.50
（その他一品料理洋食）
◇湯効　神經痛.リウマチス.胃腸病 痔疾.婦人病.逆上.中風.肥胖病
（内務省東京衛生試驗所檢定濟）
◇諸設備　撞球臺.高級ラヂオ.大廣間 讀書室.近代式浴場と洗面所.水洗式便所.小動物園.タクシー部 御子様運動器具
◇名物　川魚料理（うなぎ・鯉）蜂蜜羊かん

◉女中數名入用◉

常磐線湯本驛　小瀧鑛泉

御旅館 御自炊　瀧の湯

電話（小名濱）103番

花柳病科　外科

本村外科醫院

平町六丁目橋際　電話三〇九

冬物は

是非！

當店から

（在庫豊富）

平町四丁目
電話六五六番

破魔弓と

羽子板

可愛童謡羽子板其他各種豊富に陳列致しました

お子様のお祝に是非！

平・四
電九五

スガノヤ提灯店祝物部

かき料理・なべ類

始めました……是非御試食下さい

かきふらい	二十錢	かき酢ノ物	二十錢
あんことも酢	十五錢	よせなべ	三十錢
たらちりなべ	三十錢	ちりなべ	三十錢
はもなべ	三十錢	あんこなべ	三十錢
かきなべ	三十錢	ねぎまなべ	三十錢
鳥なべ	三十五錢	牛及豚なべ	三十五錢

金トンもあります二十錢

——此外御注文に應じ色々調理致します——

平二警察署通り

魚清食堂

電話六三三

毎度有難ふ

▽飛躍！四重景品付大賣出し

舊正月の初賣には

旭屋の四重景品!!!

千圓の御客様も

一圓の御客様も

一、當店の本景品が第一景品
二、東京山川總本店寄附ノ第二景品
三、特別御禮の第三景品
四、來年度も又お願の第四景品

——是非！御來店下さいお待ちして居ります——

旭屋

平・三丁目

一六銀行衣裳部

電話四二五番

吉田眼科醫院

平町紺屋町

豪華なサロン

新たな設備！

連日滿員御禮

御同伴で御商談御會合ニ

（心付御會計の一割外拜辭）

御食事

喫茶

小宴會

グリル

バッカス

電話七〇二番